

研究課題 (テーマ)		臨地実習指導看護師を対象としたユマニチュード技法の教育プログラム開発とその効果	
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	看護学科	教授	竹内 登美子
分担者	看護学科	教授	岡本 恵里
	看護学科	講師	青柳 寿弥
	県立中央病院	看護部長	岡本 里美
	かみいち総合病院	看護部長	坂本 奈緒子
	富山赤十字病院	看護部長	森 太貴子
	日本ユマニチュード学会	代表理事	本田 美和子
	ジネスト・マレスコッティ研究所	所長	イヴ ジネスト
研究結果の概要			
<p>本研究の目的は、臨地実習指導を担当する看護師を対象としたユマニチュード技法の教育プログラムを試行し、その体系的な教育法を実践した効果を検証して教育プログラムを完成させることである。</p> <p>本学の倫理審査委員会、及び3病院の倫理審査委員会の承認を得て、教育プログラム実施日時を決定した。また、3日間の研修プログラムの目的を①哲学に基づいてケアを考えることができる。②関係性づくりのテクニックについて理解する。とし、具体的な教育プログラムを決定した。</p> <p>しかし、COVID-19の感染拡大という状況下での実践はリスクが大きいという各病院からの申し出があり、プログラムの試行を延期とした。その間、ユマニチュード技法の具体的な展開方法を明確にし、その評価を可視化できるようにビデオ機材等を準備した。</p>			
今後の展開			
<p>COVID-19の感染状況を見ながら、3病院での教育プログラム実施(試行)日時を改めて決定する必要がある。3病院共に研究協力体制は整っている。</p>			